

加じき

広報

第130号

42・11・5発行

発行所 加治木町役場
発行者 曾木隆輝
担当者 向江巧
編集者 中元邦夫
印刷所 吉屋印刷

全ご家庭に、もれなく配布



食後の話題に交通問題を

秋の全国交通安全運動が、10月22日から31日まで全国いっせいに実施されました。

最近とみに町内での事故が目だって多く、毎日のようにわたしたちは悲惨なニュースを耳にします。このうちとくに多いのが交差点での事故や道路横断中の事故で、これは歩行者、運転者が自己の優先だけを考えて行動する結果のようです。

お互いが交通法規を守り、ゆずり合いの精神で、ゆずってもらった人は、感謝の気持ちを表

わす、あいさつをするよう心がけることが、たいせつであり、恐い交通事故を防止することになると思います。

このようなことは、この運動期間中だけで終わることがないように、日ごろから交通徳をよく知るとともに、わたしたちの日常生活の中に交通問題を取り入れ、夕食後のひとときを家族そろって話し合う機会をもちたいものです。

(写真は安全標示板に集まる小山田保育所の園児たち)

一億千圓
三億二千九七六万円

木田川の災害復旧など可決

定例第三回町議会

定例第三回町議会は、九月二十日から二十八日まで開かれまし
た。可決された議案のうち、主な
ものは次のとおりです。

◆固定資産評価審査委員の選任
諏訪町の前田為雄氏が任期満了
のところ、再選されました。

◆教育委員の選任
諏訪町の志岐正治氏が任期満了
のところ、再選されました。

◆一般会計と上水道特別会計補正
予算
第四回一般会計補正予算一千六
六九五千円のうち主なものは、
次のとおりです。

予防費一一九五千円。道路整
備事業費三三九万二千円。農業構
造改善事業費(育すう所負担金な
ど)五〇一万六千円。教育振興費
(小学校費八三万九千円、中学校
費六二万)一四五万九千円。
河川災害復旧費(木田川二か所)
三二四万九千円。土地取得費(役
場車庫東側三〇三坪購入)四七九
万九千円です。

上水道特別会計補正予算九五万
円のうち主なものは、事務所費の
六三万円(小型貨物自動車を購入
です。)

採択になった陳情

▼田中、竹下部落から提出の「町
道編入の件陳情書」

▼中野小PTAから提出の「学校
施設の充実について」

▼辺川地区代表者から提出の「鎮
守校前の舗装および拡張につ
いて」

▼辺川地区代表者から提出の「町
道辺川、市野線字瀬戸口坂舗装
および拡張について」

閉会中の継続審査となった陳情
と請願

▼桑迫部落から提出の「始良町山
田大山より西別府桑迫湯ノ谷線
に通ずる新設道路の件」は、始
良町の事情について、調査検討
の必要があるため。

▼部落自治会、地区世話人会両連
絡協議会長から提出の「部落自
治会並びに自治会、世話人手当
助成金に関する要望書」は、自
治会、世話人制度の細緻運営に
ついて、さらに日時をかけて慎
重に検討する必要があるため。

▼萩原部落民から提出の「道路の
四角削除の件について」は、
削除用地補償の前例や他部落と
の関連性から、再検討の必要が
あるため。

▼札立部落居住者から提出の「道
路拡張について請願書」は、用
水路については、農業委員会、
土地改良区の関連もあり、また
幅員拡張後の大型消防車乗り入
れなど問題があり、再検討する
必要がある。

おとしよりでいっぱい

明るく町づくり講演会

町選挙管理委員会と町明るく正
しい選挙推進協議会では、九月二
十八日花城小講堂で、明るく正し
い選挙の啓蒙運動の一つとして、
「明るく住みよい町づくり」の講
演会を開きました。

講師の副田凱馬先生は、鹿児島
市選挙管理委員、県明るく正しい
選挙推進委員として、また町がさ

きに制定した「町民歌」「町民音
頭」の選者でもあります。

会場には早くから、おおぜいの
人がつめかけ、先生の講演に耳を
傾けていました。

「明るく住みよい町づくり」と
は、みんなしあわせになりたいと
いう事であり、これは人間共通の
願いである。人は、それぞれ地縁

(土地がら)につながる運命を、
もっており、これが生活するうえ
に大きな弊害をなしている。話し
合いで新生活運動をおしすすめ、
古い因習(習慣)をあらため、世
の中のことがすべて正しく、はっ
きりとした生活(しあわせを得る
こと)ができるようにしなければ
ならない。そしてお互いが民主主
義の要点である人間尊重のルール
を守って行くことが、たいせつな
ことである……。

(写真は講演会々場風景)



交通事故に

あいやすい子ども

調べによると、次のようなタイ
プの子どもは、交通事故にあいや
すいそうです。

○衝動性(粗暴、けんか早い、あ
ばれん坊)

○動揺性(注意力が散漫で、動作
が鈍い)

○幼稚性(知能は進んでいても、
社会的には赤ちゃん)

○遅鈍性(運動神経がにぶい)

○反抗性(何にでも反抗する)
こういう子どもに対しては、母
親はよく子どものタイプを知り、
その子にふさわしい教育をするこ
とがたいせつです。

たとえば、絵・習字など知的な
作業を通じて衝動性をなおしたり
すばやい身のこなしなどで危険を
さけるように教えたりして、社会
性のあるお子さんに育てていた
きたいものです。

また、一日のうちで子どもの交
通事故のもっとも起こりやすい時
間は、午前十一時から十二時と、
午後四時から六時だといわれます
つまり、おかあさんの忙しい時
間です。くれぐれも注意のほどを

さあねようアッその
まえに火の点けん

町畜産品評会開かる

姿を消した馬の出場



ただいま審査中……。

九月十四日午前九時から町畜産品評会が、種馬所あついで開かれました。

各地区で入賞した和牛五頭、乳牛九頭、豚六頭が出場して、なかなかの盛況でした。

ただ、農業機械の導入で、馬の出場がなかったことはさびしいことでした。

種目別の一位入賞者は、次のとおりです。

▼当才牝牛

- 山口文男(木田) 樗木アヤ子(西別府) 岩穴口亀吉(木田) 内村靖夫(小山田)

▼二才牝牛

- 榎田静雄(日木山) 中村正記(西別府) 満留武久(小山田) 内村照夫(小山田) 小宮路新(辺川)

▼三才牝牛

- 城満志(木田)

- 牛産牛 東明(西別府) 内村実良(小山田)

▼肥育牛

- 下枝照男(木田) 今西実(木田)

▼乳牛

- 榊元栄二(木田) 西村照雄(西別府)

▼種豚(一類)

- 種豚(一類) 榊元栄二(木田)

▼種豚(二類)

- 今西実(木田)

▼大字別成績

- 和牛の部 ①西別府②木田③小山

▼弁護士による法律相談

毎週水曜日、午後一時から午後四時まで

▼巡回相談

地方に向いて相談所を開設します。

もっとくわしいことやまた、巡回相談の場所、日程について知りたい方は、直接県交通相談所へお問い合わせください。

県交通事故相談所は 鹿児島市山下町十四番五〇号 県庁(一階) 消防防災課内

電話③「二二一一番

無料で相談相手に 県交通事故相談所

交通事故にあわれた方が、損害賠償などの予備知識がないばかりに、相手につけこまれたり、示談を他人まかせにしたりして、安い賠償金で泣き寝入りしたという例がよくあります。

相談は無料です 鹿児島県交通事故相談所では交通事故相談員と弁護士が、賠償、更正、事後指導などの相談に応じます。

交通事故によって死亡、重傷後遺症など大きな被害を受けられた方や、その家族の方は、この県交通事故相談所へおいでください。このようなたががたの良好な相談相手となつて、正しい事後措置をお教えしたり、関係の援護機関へあつせんしたりします。

相談日時

▼交通事故相談員による相談 午前九時から午後五時まで 十曜日は正午まで。

山田 乳牛の部 ①西別府②木田③日木山

県、郡の共進会でも 好成绩をあげる

郡内共進会成績(日当山)

▼当才牛一等賞 山口文男 樗木アヤ子 二等賞 岩穴口亀吉

▼二才牛一等賞 満留武二 榎田静男 中村正記 内村照夫 小宮路新

▼三才牛三等賞 城満志

▼種豚 榊元栄二 今西実

▼乳牛 二等賞 榊元栄二

▼乳牛三等賞 西村照夫 榎谷悟

県共進会成績(鹿屋)

▼乳牛三等賞 西村照夫 榎谷悟

▼乳牛三等賞 西村照夫 榎谷悟

▼乳牛三等賞 西村照夫 榎谷悟

三つの部落運動会

○錦江第一地区堀入部落では、さる十月二十九日(日)午前九時から正村学園高校グラウンドで第二回部落運動会をひらき、終日にぎわい部落の方々に喜ばれました。この行事は東沙入、中沙入、南沙入、西沙入上、中、下の六部落自治会が共同主催で行なつたものです。

○同第二地区須崎部落自治会主催

○同第二地区須崎部落自治会主催

○同第二地区須崎部落自治会主催

○同第二地区須崎部落自治会主催

○同第二地区須崎部落自治会主催

の第一回部落運動会は十一月五日(日)午前八時半から加治木療養所グラウンドで開かれます。○同地区第一地区岩原部落でも岩原東と岩原西部部落自治会の共同主催で、十一月十九日(日)午前九時から岩原部落子ども遊園地で第三回部落運動会を開催します。

香典返しを寄附

社会福祉協議会へ

香典お返しのかかりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

金額 御遺族 故人

三千円 西ノ原 花牟礼次男(父市兵衛)

三千円 鞍掛 犀所 勲(父仁四郎)

二千円 中郷 坂元利夫(父為次)

五千円 萩原 市来政美(母とよ)

三千円 西反十 田代政徳(母ケサマツ)

二千円 天神 今別府スミ(父八之助)

三千円 桃木野 楠元みえ(夫一男)

三千円 向江町 丸岡ミキ(夫栄太郎)

十月二十五日までのご寄付を掲載しました。

学力向上をめざして

加治木方式の実践化へ

― 一体となって努力する

町内の各小中学校

本年二月、「加治木町の学力向上についての問題点を探り、この面における総合的対策の企画と実践とによって、学力の着実な充実をはかる」ために、学力向上対策委員会が発足したのであります。その後の主な行事をひろってみますと、

- 四国研修旅行（四月二十五日―四月二十八日）
 - 町教育総会（五月八日）
 - 小学校同学年研究会（六月二十六日）
 - 中学校教科研究会（六月二十六日）
 - 町学力調査（中学校三年―九月四日、小学校四、五年―九月十四日）
- など、着々とその実績をあげつつあります。
- その間、教回、学力向上対策委員会を開いて
- △ 主体的学習のあり方や学習の手引き作成のこと
 - △ 教科研究、学習内容定着度の研究と時間確保のこと

△ 教科の目標や内容の重点を把握することについての相互研究の対策

△ 教師の使命などについても、熱心な検討がなされています。

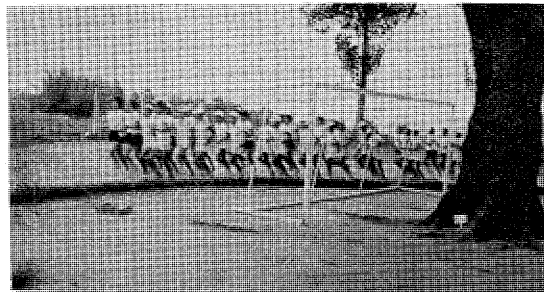
その結果、加治木の教育の具体的方式を考えようとの気運が生れてきました。一方、また前述しました四国研修旅行の研修報告「愛媛の教育」が現場の先生方に与えた影響は大きく、各学校の先生方の声として、加治木の教育をすすめるうえの具体策が欲しいとのことで、そのような先生方の積極的な考えのなかから「加治木方式」が生まれたのであります。

◇加治木の教育（加治木方式）

目 標	方 式
ひとりひとりを だいにし、心 と心のふれあう 教育	ステップ式 学習

一時間一時間を
だいにし、つ
みあげの教育
体力、気力を
つくる教育

始業前二分
全体体育校
（かけあし）



今日も持久走で体力づくり（永原小提供）

各学年の基礎要素をしっかりと「個々に徹する教育」をしようというのがステップ式学習であり一時間の授業をむだなく充実したものにしたいという願いから、「始業前二分」になったら何はさておいても教室へ行くのだという心構えから生れたのが、この「始業前二分」ということであります。そして学力をつけるには、どうしても体力気力の育成がだいじだといふので、「全校かけあし」が生まれてきたわけでありました。各学校とも、九月一日から、こ

の方式の実践化をめざしてスタートしたのであります。その効果を期待したいものです。

このほか、十一月十七日は、町教科研究会を鎮守小で開く予定ですが、その折

「学力向上対策の効果度をたしかめ、さらに問題点を追跡する」ため、

新しい害虫「ジャガイモガ」が県下で発生しましたが、本町にもこの新害虫が侵入し、日本山、市

来原、西浦地区で発見されました。

「ジャガイモガ」は、ナス科植物、ジャガイモ、タバコ、ナス、トマト

などの大敵です。このまま放置しておくと来年の種用ジャガイモやナス、トマト、葉タバコにも被害を与えます。

タバコの残幹、ジャガイモの被害葉は、早く焼き捨てるようにしましょう。

新しい害虫「ジャガイモガ」

日本山・市来原・西浦で発生

●薬剤は

DDT粉乳剤・スミチオン剤などを使用する。

●どんな虫か

暖地では成虫、幼虫、卵、さなぎとともに冬を越し、年間七、八回発生する。成虫は体長八ミリ、淡い灰かっ色に黒かっ色のまだ

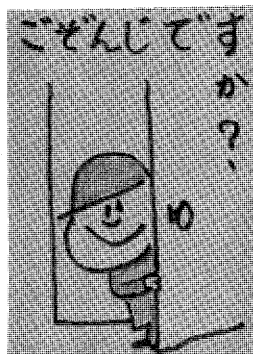
めの中間検討をすることにしていただきます。

町をあげての協力と各学校の先生方の熱意と努力とによって、学力向上への歩みが、一歩一歩確実に前進しつつあることはありがたいこととあります。

ら模様。幼虫は体長一〇―一四ミリで幅は一・五ミリ、全体が黄白色。

●見つけたら

農業改良普及所、役場、農協に知らせましょう。



入浴法さまざま

日本人のフロ好きは有名ですがこんなはいり方があるのをご存じでしょうか。

やせるためには、熱い湯に短く何回もはいる。ぬる前、疲れをとるためには、ぬるま湯に短くはいるのが気分が爽快になるし、健康にもよいとのこと。余裕があったらぜひどうぞ。

ゆたかなくらしづくり

簡易保険新加入運動

から
10月
12月

簡易保険は、国民の経済生活の安定と福祉の増進に寄与するとともに、わが国経済の発展と公共施設の拡充にも大きな役割りを果たしており、広く国民の各層から親まれております。

しかし簡易保険の普及状況は災害時にもみられるように、まだ十分とはいえないので、このたびの保険金最高加入額引き上げを契機として、積極的に普及浸透をはかることが肝要であります。

- ゆたかなくらしづくり郵便局の簡易保険
- 三倍保障郵便局のクロバー保険
- うちじゅうニコニコ郵便局の家族保険
- 信用が守り育てて五兆円郵便局の簡易保険

躍進を続ける簡易保険

簡易保険の役割りとその利点
みなさんの簡易保険は、災難にあわれた場合に、家族の経済生活の安定と福祉の増進をはかるとともに、身近なところのりっぱな学校、住宅、道路、橋などの建設資金として大きな役割りを果たしております。

郵政省では、これからもみなさんのために、お役に立ちたいところからクロバー保険の保険金を七月二十日から一五〇万円に引き上げました。

この際、まだ保険に加入していらっしゃらない方や保険をふやしたい方は、手軽で全国どこでも取り扱われる簡易保険を、ぜひご利用くださるようお願い申し上げます。

改正された

統制小作料

農林省では、本年八月二十五日今までの統制小作料を改正して、新しい統制小作料を、さる九月一日から施行することになりました。今度の改正は一〇アール当たり水田が現在の小作料の四倍となつて、標準が四千四七六円（現行千一一九〇円）畑は二・五倍で標準が千六八〇円（現行六七二円）となります。

しかし本年度の小作料については、その大部分が作付け後、変更になるので、契約当事者間（貸人と借人）の合意が円満に得られる

ようご協力をお願いします。
くわしいことは、町農業委員会

事務局へお尋ねください。
○改正小作料は次のとおりです。

農地等級	部の額		部の部	
	10アール		10アール	
	現行	改定	現行	改定
1	1,422	5,688	868	2,170
2	1,361	5,444	829	2,073
3	1,301	5,204	789	1,973
4	1,240	4,960	750	1,875
5	1,180	4,720	711	1,778
6	1,119	4,476	672	1,680
7	1,059	4,236	632	1,580
8	998	3,992	593	1,483
9	938	3,752	554	1,385
10	877	3,508	514	1,285
11	817	3,268	475	1,188
12	756	3,024	436	1,090
13	696	2,784	396	990
14	635	2,540	357	893
15	575	2,300	318	795

家庭教育

毎月十五日は定例の授業参観日、農作業に追われて心ならずも参観できないこともしばしばあります。

心の隅では先生の発問に手の上がらない子ども、発表も思うようにできない子ども、ただ親のあせりを感じるのみで「じれったい、はずかしい」という気持ちのあつたことも事実です。

本年度になって（たしか七月の参観日か）いつ

授業参観に思う

になくここに「ただ今」と大きな声で帰って来た子ども、いきなり「かあちゃんあしたの参観に来てね。これあとで見て。」これだけいい残すと奥の部屋へかけこんだ子ども、夕食の用意の手を休めて手にとってみると、「授業参観資料」という見出しで「本日の勉強」一、教科二、本日の学習のねらい三、流業の流れ（この中に子どもの動きと勉強、教師の指導上の留意点）と、わたしたち父

母によくわかるようプリントしてありました。

片面には、気づいたこと、たずねたいことのメモ、本日の話し合い事項等ていねいに示されています。

ここで、わたしは思わず考えこんでしまいました。そつと奥の部屋をのぞくとめずらしくも本を広げて勉強しているわが子の姿、明日にそなえての勉強かと、思わず目頭のおつくなるおろかな母親でした。

これを機会に、子どもの発表、あるいは子どもが手をあげるあげないということよりも授業参観のしかた、話し合いのしかた、すなわち問題をもつて授業参観にのぞむことができるようになりました。

子どもが伸びることは、わたしたち父母が伸びる姿でなくてはならないと強く感ずる一母親でございます。次の参観日を楽しみにしたい文を終わります。

（永原小一母親）

裏日本地方へ

行政、産業視察調査

町議会では、十月二日県議長会主催の行政、産業視察に参加、裏日本地方（金沢、富山、新潟県内の関係町）の一般行政運営、公共施設（教育、福祉）産業、農業のあらゆる分野にわたって視察を終え十月九日帰着しました。

これは、本町の飛躍的な発展を

図るため、総合開発、行政、産業振興、文化、厚生計画の各分野にわたって先進地を視察調査して視野をひろめ、本町の行政、産業の向上発展を期する目的で行なったものです。

参加した議員は次のとおりです
市来仙 福元友蔵 増田勇吉 川崎鉄雄 東藤男 郡山敬次 入佐俊興 神園国義 大吉操 岩田一郎の各氏です。

明るい話題

県庁の山下さん

火事見舞いに家を贈る

さる十月一日午後二時過ぎ、町内辺川の鎮守小裏の岩元実吉さん同嘉美さんの両家など、五むねが一瞬のうちに焼失しました。

原因は、煙突の不備からのようですが、ちょうど運動会で両家とも総留守であり、水利の便も悪かったため家財道具はもちろん、七〇アル以上からとれた葉たばこもみんな灰になってしまいました

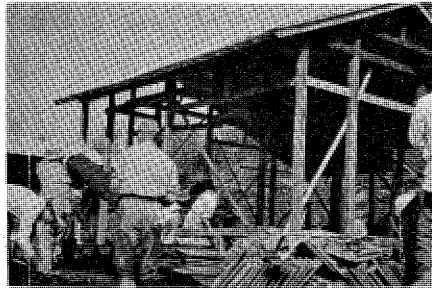
両家とも部落の人たち、婦人会員の協力で、立ち直りにいっしょうけんめいですが、火事の記事を新聞で見た県衛生研究所の山下虎吉総務課長さん一家では、近く住

宅を新築の見込みだから、この家を岩元さんに贈ろうと話がまとまり役場に連絡がありました

役場ではすぐ本人たちにお知らせしましたところ、実吉さんたちは、町長室へかけつけて

「不注意でこんなことになり、皆さんにご迷惑をかけほんとうに申しわけありません。各方面から暖いご同情をいただきありがたいきわみです。また全く未知の方から、家までくださるとのこと感激でいっぱいです。と、やけどした手で目がしらを押えておられました。さっそく役場

では、限原福祉課長補佐が岩元さん、大工さんたちと山下さんの鹿児島市上之園町の山下さんのお宅を下見に行つて、五日加治木へ移築しました。渡る世間に鬼はいないと申しますが、山下課長さんの善意には関係者一同、頭のさがる思いです。



贈られた家を建てる部落の人々

二部落に青年会生まる われわれの力を結集して 地域づくりの力にない手に

○錦江第三地区の楠園部落に一八名の青年を会員とする「木田青年たけのこ会」が、さる六月一日結成されました。

○錦江第二地区の須崎部落四八名の青年で「須崎青年会」を九月六日結成しました。

○いずれの青年会も、会員お互いの理解と親睦を深め、青年として豊かな教養を身につけ、部落の文化向上につとめ明るい部落づくり、町づくりに貢献しようとして発足したものです。結成を心から喜び、今後の発展を祈ります。

○次に役員と年間行事を紹介します。

- 会長 宇都勝正
- 副会長 松田成夫
- 会 計 柿内アツヨ
- 監 事 宮路秀男
- 大内山幸子
- 郡山弘行
- 白浜アツ子

年間行事

- ① 毎月第三日曜日の午前六時から部落内の清掃を行なう。
- ② 年一回以上部落内山払い行なう
- ③ 敬老の日に長寿を祝い、敬意を表わし寸志をおくる。
- ④ 葬儀の際かつぎ出し、イケはり
- は会長の指示に従う。
- ⑤ 三月の節句を行なう。
- ⑥ 青年創立記念日に体育祭（九月第一日曜日）を行なう。

列車に知らせることを先に

●踏切りの上で自動車等が故障で止まった場合は、あわてて自動車をのけることを考えずに、列車に知らせることを先に考えましょう



写真は「列車に先づ知らせよう」(柳田踏み切りで)加治木駅

意外に多い踏切事故

4S運動を守ろう

交通事故のうち、踏切事故による死亡者は、昭和四十一年度で一般交通事故の九倍で、非常に死亡率が高く踏切事故の恐ろしさをしめしております。

普通の交通事故は、自分が気をつけていても、不幸にも他人の不注意や過失によって災害を受ける

ことがありますが、踏切事故は本人が4S運動

- 1. STOP (止まる)
 - 2. SEE (見る)
 - 3. SLOW (確かめる)
 - 4. START (進む)
- を、しっかり守るだけで事故を未然に防ぐことができます。